

東北6県と新潟県の高卒生を対象とした県立の「3Dデザイン&3Dプリントコンテスト」で、男鹿工業高校機械科2年の杉本南陽さんが、最優秀賞の県

県立大 3Dデザイン&プリントコンテスト

杉本さん(21年) 最優秀賞

立大特別賞に輝いた。制作テーマのスマートフォンスタンドをコンパクトかつ使いやすく仕上げたことが評価された。

なスマホの角度を調整できる点も高評価を受けた。コンパクト化課題が残ったこともあり、惜しくも頂点には手が届かなかった。今回はその反省を生かし、よりサイズ感を重視したデザインに仕上げた。

23年度は、機械工学科が主催した「3D CAD体験教室」の参加者が応募できる一般部門も新設。唯一応募した本荘南中学校2年の高橋高橋さんが最優秀賞のシステム科学技術学部特別賞を受賞した。深めと浅めの二つの角度でスマホを置くよう形状を工夫した点が評価された。

一般は高橋さん(21年) 受賞

作品は、生徒が3D CAD(コンピュータ利用設計システム)で制作したデザインデータに基づき、県立大側が樹脂で3Dプリントして作った。審査基準は機能性や意匠性、コンパクトさなど。主催するシステム科学技術学部機械工学科の教員らが出来栄をチェックした。

杉本さんの作品は、立てたスマホを支える背もたれ部分だけを折り畳めるのが特徴。幅10センチ、高さ5センチの各側面の大きさにサイズダウンできるほか、立て

スマホスタンド課題 コンパクトに仕上げ



最優秀賞に輝いた杉本さん(右)と高橋さん

てたという。「作品が評価されてうれしい。審査員からももらったアドバイスを基に、より良い作品を作っていたい」と話した。

コンテストでは、充電ケーブルを差したままスマホを置くように工夫を凝らした作品、動物や人間の形をモチーフにした個性あふれるデザイン

の作品なども注目された。

23年度は、機械工学科が主催した「3D CAD体験教室」の参加者が応募できる一般部門も新設。唯一応募した本荘南中学校2年の高橋高橋さんが最優秀賞のシステム科学技術学部特別賞を受賞した。深めと浅めの二つの角度でスマホを置くよう形状を工夫した点が評価された。

(木佳奈) 他の受賞者は次の通り。(敬称略)

- ▽ベストコンパクト賞
- ▽ベストデザイン賞
- ▽ベスト機械賞
- ▽ベスト3D最優秀賞
- ▽企業賞
- ▽藤原大夢(福手清隆学院)
- ▽企業賞
- ▽藤原理央